

(様式6-3)

研修等 報告書

令和5年7月21日

三田市議会議長 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	無会派	代表者	
		議員名	林 政徳
参加者氏名	林 政徳		
講演会等研修名	人口減少と共存する方策・子ども条例の現状と課題		
研修事項	・関係人口、活動人口・地域活性化・公民連携 ・子ども総合条例・子ども個別条例		
日 時	令和5年7月1日(土曜日)～7月2日(日曜日)		
場 所	地方議員研究会セミナー リファレンス新有楽町ビル 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目12-1 新有楽町ビル2F		
所 見 (別紙でも可)	議会と行政のミッションは住民の幸福感(福祉)を増進させることが目的であることを念頭に置いてその地域に合ったコンパクトシティを目指すことが地方再生に適していると考えます。課題を解決するためにも交流人口に注目し、鳥取県境港市の「水木しげるロード」の取り組みはすごくわかりやすく経済波及効果も120億から3年で436億まで増加し商店街の取り組みから市全体に波及しつつある事例に三田市としての疲労する地域を再活性化させたいという目標を共有化出来るかにかかっていると感じた。三田市第5次総合計画をどこまで同じ目標を確認し共有出来るのかシビックプライドを理想から現実へと考えたい。子ども条例について、子どもの世界は自助、共助、公助の考えに自助の後に「家助」が必要では?という提案に家族の存在は社会そのものであると認識した。家族が助け合う環境の構築が必要で、その部分へどのようなアプローチがあるのかを考えていきたい。いま抱えている子ども貧困、犯罪被害、虐待、不登校、いじめ、学力格差、自殺等の根本が家族であると思うので家族にフォーカスして今後の市政に対して提案していきたいと思う。		
添付資料	・テキスト2冊 ・議員NAVI 2種類・確認シート ・領収証 ・写真		

添付書類(講演会内容のパンフレット等)

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入ください。

個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入してください。